

◆ 今週のコメント

- 腸チフスの報告が1例(男性, 20歳代)あります。症状は高熱・脾腫・下痢です。推定感染地域は国内で、推定感染経路は不明となっています。本年の累積報告数は2例です。
感染症法に基づき届出の対象となった平成11年4月以降, 平成12年2例, 平成15年5例, 平成16年3例, 平成17年1例, 平成20年2例の報告があり, 本市の累積報告数は本例を含め15例となっています。
- デング熱の報告が1例(女性, 20歳代)あります。本年の累積報告数は4例です。推定感染地域はインドネシアで、推定感染経路は蚊からの感染です。

◆ 今週のトピックス:<風しん>

風しん(検査診断例)の報告が2例(ともに男性, 10歳代及び40歳代)あります。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 定点医療機関の追加について

第14週から山科区の1定点が追加され、インフルエンザ定点 68 となりました。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 三類: 腸チフス 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 四類: デング熱 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- 五類: 風しん(検査診断例) 2例【1月以降の累積報告数 11例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	2. 51	171
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4. 54	186
	② 水痘	0. 78	32
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 66	27
	④ 突発性発しん	0. 56	23
	⑤ RSウイルス感染症	0. 10	4
	⑤ 咽頭結膜熱	0. 10	4
眼科	流行性角結膜炎	0. 40	4

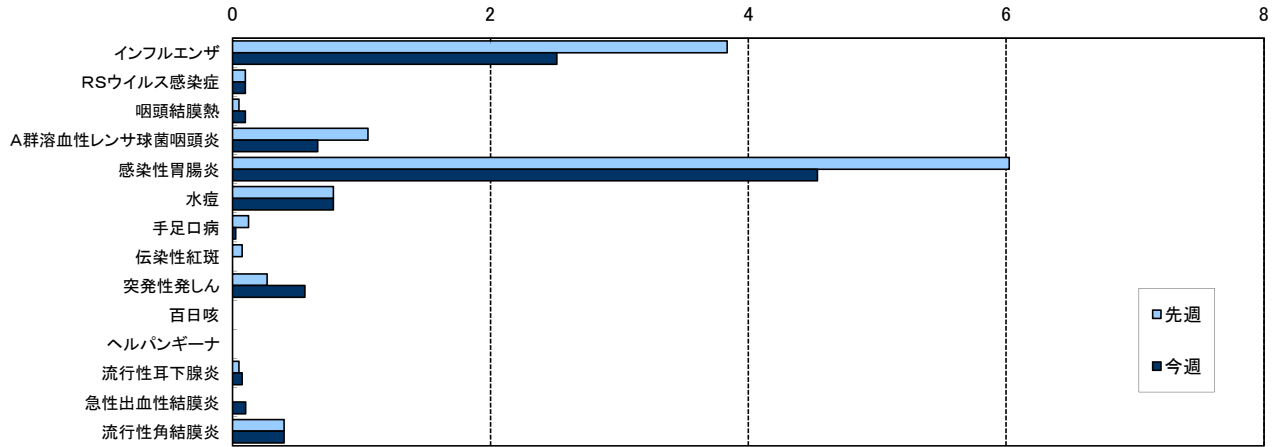
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<風しん>

(注) 京都市のデータは、平成25年4月11日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

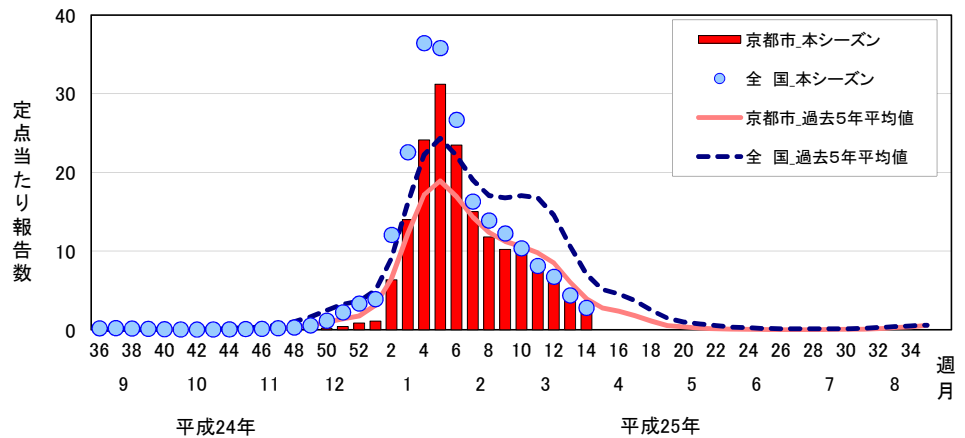
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第14週)と先週(第13週)の定点当たり報告数の比較



2 インフルエンザの推移

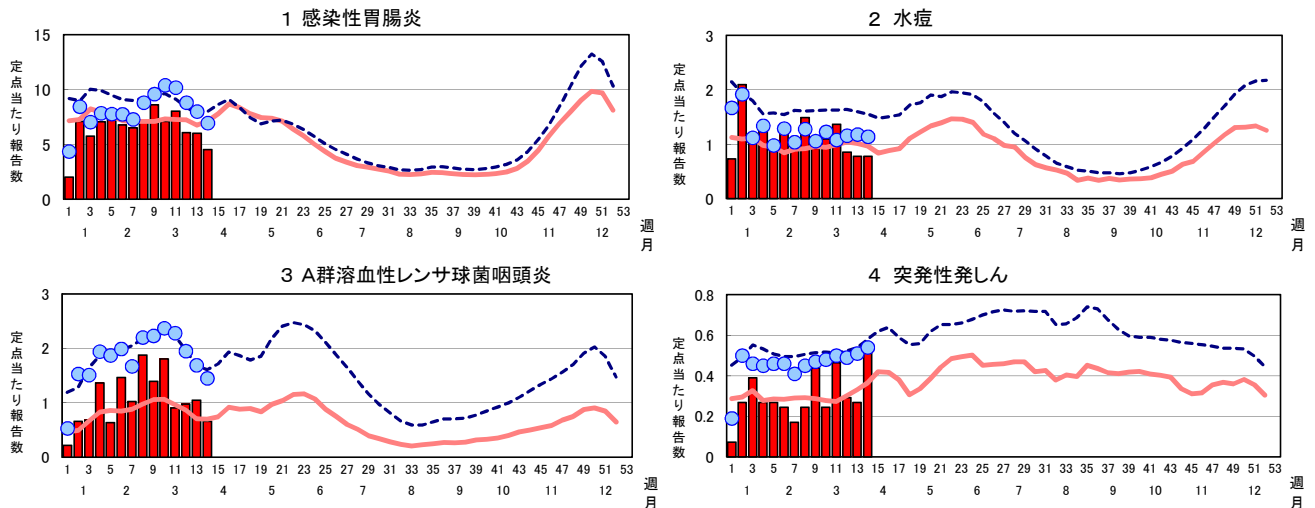
週	報告数(例)
第10週	677
第11週	563
第12週	448
第13週	257
第14週	171
累積報告数 (第36週以降)	11,429



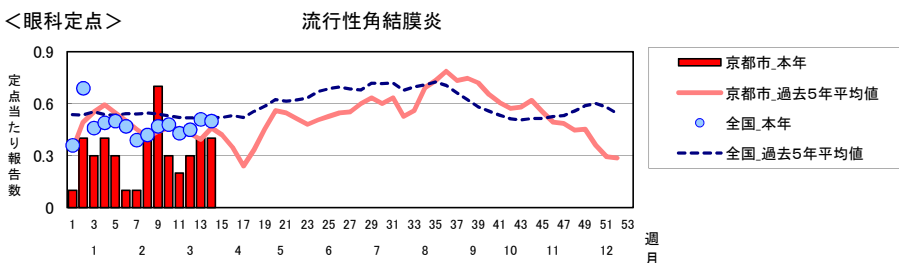
*平成21年/22年シーズンは、インフルエンザ(H1N1)2009の影響で、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



第14週(4月1日～4月7日)トピックス: <風しん>

風しん(検査診断例)の報告が2例(ともに男性, 10歳代及び40歳代)あります。第9週(2月25日～3月3日)から6週連続の報告です。本年の累積報告数は既に11例となっています(平成24年の累積報告数26例)。男性 9例(10歳代 1例, 20歳代 2例, 30歳代 3例, 40歳代 3例), 女性 2例(20歳代, 60歳代)で, ワクチン接種歴はなし5例, 不明6例です。

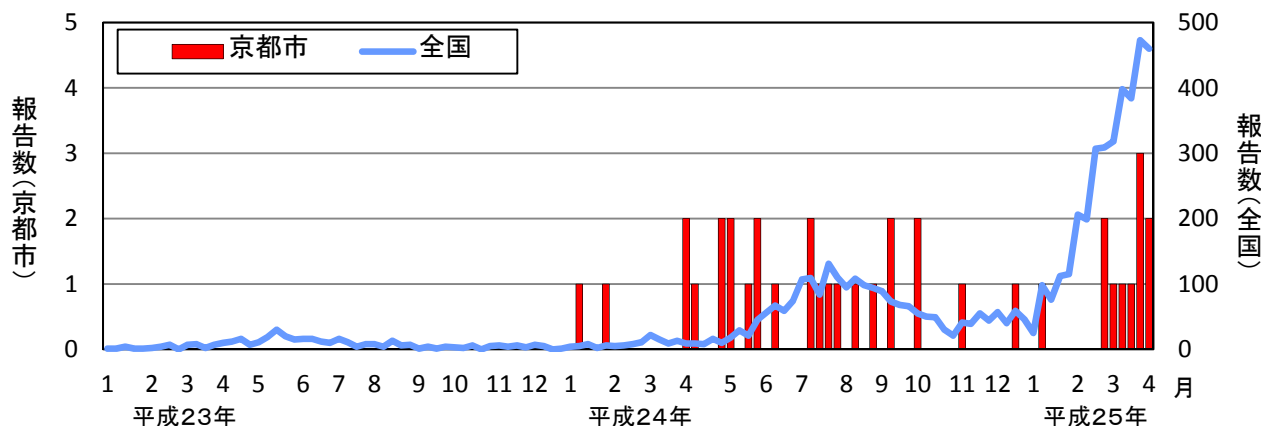
性別年齢群別累積報告数では, 京都市及び全国のいずれも, 20歳代～40歳代の男性の報告数が多くなっています。

都道府県別報告数は, 本年は東京都, 神奈川県, 大阪府の順に多くなっています。

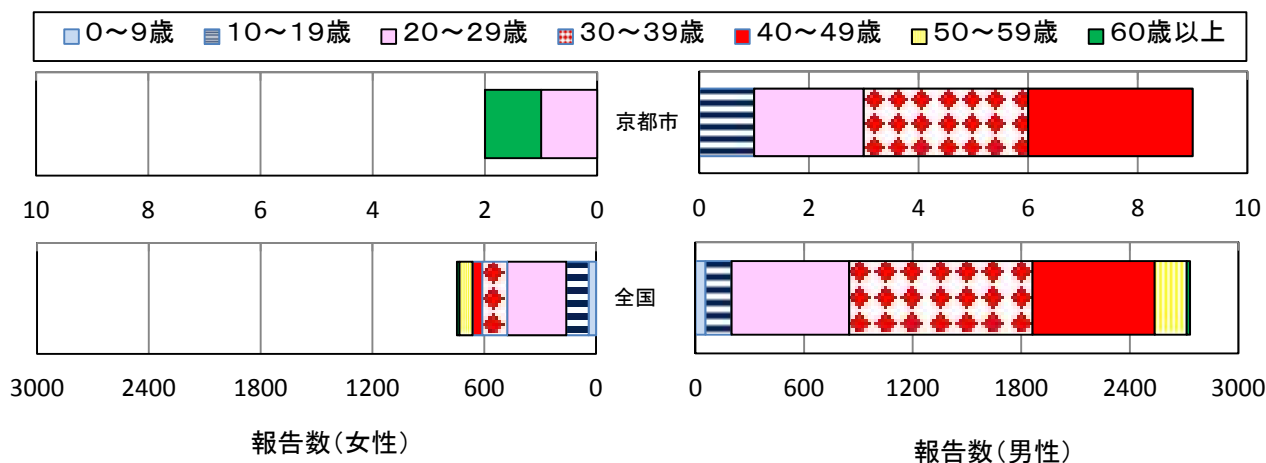
風しんの届出基準及び届出様式は, 下記をご覧ください。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000043726.html>

京都市及び全国の報告数の推移(平成25年4月11日現在)



平成25年性別年齢群別累積報告数



平成25年都道府県別累積報告数(平成25年4月11日現在)

